

議会だより

第39号

一般質問 (9月定例会)



林 英明議員

ワンヘルス(One Health)について

問 新型コロナウイルスのような、人と動物双方に感染する人獣共通感染症は、今回のパンデミック終息後も繰り返し人類を襲うことが危惧されている。

答 これに備えるため、人と動物と自然環境の健康は1つと考えてこれを守っていくというワンヘルスの取り組み。

これについての町長の所感は。

答 (町長) 福岡県が全国に先駆けて「ワンヘルス基本条例」を制定したことは誇らしいことであり、人と動物の健康と環境保全に積極的に関わっていくことは、大切なことだと思っている。

問 小・中学校でもワンヘルスの勉強を始めると耳にしたが。

答 (大庭教育長) 小学4年生・中学1年生にワンヘルスを学習教材として活用していく。

問 ワンヘルスのことを町報で紹介して頂きたい。

答 (町長) 担当者と協議し、啓発も含め進めていく。

消防団員の報酬について

問 桂川町消防団員の条例での数と現在の数、それに10年前の数は。

答 (横山総務課長) 10年前の条例は210人、その後女性の加入により220人。現在208人で10年前も208人。

問 桂川町の一般団員の年額報酬と出勤報酬は。

答 (総務課長) 年額報酬21,000円、出勤報酬1,600円。

問 福岡県の市町村別の年額報

酬と出勤報酬は。

答 (総務課長) 年額報酬36,500円以上は72%。出勤報酬8,000円以上は62%。

問 消防団員に支給する報酬は地方交付税として国から支給されている。その金額は。

答 (総務課長) 911万円で、町の当初予算には1,065万円計上している。

問 桂川町も年額報酬36,500円、出勤報酬8,000円にするべきと思うが。

答 (総務課長) 改正が必要になるため、準備が整いしだい条例改正案を議会に上程する。





吉川紀代子議員

インボイス制度導入について

問 令和5年10月から開始されるインボイス制度導入の準備は。

答 (北原会計管理者) 広報周知等への協力及び、システム改修に向けた準備を進めている。

問 相談窓口の設置は。

答 (小金丸産業振興課長) 設置していない。

問 課税登録申請は。

答 (会計管理者) 内部調整を図り適切な時期に申請予定。

問 仕事の煩雑さへの対応は。

答 (会計管理者) システム化を図り、対応したい。

問 町民への影響は。

答 (町長) 事業主に影響があると考える。

生理用品の無償配布について

問 国内はもちろん世界的にも大きく広がっている生理の貧困問題を、どのように受け止めているのか。

答 (町長) 不衛生やいたずらを防止する観点から、適切に対応している。

問 児童生徒への人権侵害やプライバシーへの配慮は。

答 (平井学校教育課長) 全教員が人権・プライバシーに配慮した対応に努めている。

問 養護教諭の記録ノートは、生理用品がないことを子どもに申告させる状況になっていないか。

答 (学校教育課長) 子ども達の見守りや、支援に繋がると考えている。

問 これは女性だけの問題ではなく、人権の問題である。生理用品

品の無償化を検討すべきでは。

答 (町長) 先ほども回答したとおり、現在のやり方で問題は無い。むしろ子ども達の様子を把握したり、相談にのったり等のプラ

加齢性難聴者への補聴器購入助成について

問 政府の新オレンジプランでも、認知症の発症予防に補聴器の装用が示唆されていることを、どのように受け止めているか。

答 (川野健康福祉課長) 認知症の予防法として有効であるという論文により、承知している。

問 障害者支援法のレベルは高すぎて認定が難しいので、町独自に助成制度を作るべきでは。

答 (町長) 身体障がい者手帳を取得して、補聴器の助成を受けたい。

ファミリー農園苦情について

問 農園利用者への対応は。

答 (産業振興課長) 利用者では解決できない案件は、状況に応じた対応する。

※「物価高騰による農業の現状と食の未来について」は未掲載



大塚和佳議員

今後のコロナ支援対策について

問 国からの交付金6億円の内、2億円(総合福祉センター空調機器更新工事8・700万円の内、コロナ予算5・200万円等)は一般財源で実施すべき事業ではないのか。

答 (町長) 交付金の活用方法は、国の趣旨を踏まえたうえで予算化し実施してきたもので、別に問題はない。

問 福祉関係者から「利用者がコロナの陽性になりクラスターになっても、現状は病院の受け

入れが出来ないため、施設が病院の代わりとなって診ている。日に／／増える職員と利用者の陽性者で、不安感や緊張感や疲労感がある。病院と違って医療の専門である看護師も少なく、医者も常勤でない状況の中で、現場職員が陽性の利用者を介護・療養していくのは非常に過酷に感じている。」等の意見がある。

なぜ支援金で応援しないのか。

答（町長） この意見は、給付金支給とは直結した話ではないし、そのほかの回答は準備していない。

駅舎等について

問 駅ホーム待合室の設置要望書（8月4日議員全員署名）の取り扱いは。

答（町長） 町からJR九州に要望書を提出し、回答を文書でいただく予定。

浄水場及び配水池等の水道関連施設の老朽化対策について

問 配水池の状況等と災害時

における保険等は。

答（山本水道課長） 1号配水池の経過年数は58年で、耐用年数は60年。

地震や洪水など不可抗力で発生した損害は保険対象外。

他の自然災害は、身体・物財共通で1事故における限度額は1億円のみ。

問 今後の配水池改修等の計画は。

答（町長） 課題として残っている。

保育所と小・中学校の建設等の計画について

問 今後の計画は。

答（町長） 保育所は建て替える必要がある。小中学校建設は今後の課題。

トライアル桂川店の騒音防止対策について

問 夜中の作業が住民の安眠を阻害している。

今後の取り組みは。

答（町長） 防音壁のようなものを設置する必要がある、トライアルに提案したい。

※「移住定住対策」「森林環境譲与税の対象者及び事業等の優先順位」は未掲載



杉村明彦議員

国民健康保険税について

問 課税を四方式から三方式へ変更する具体的なスケジュールは。

答（永松保険環境課長） 令和5年度から改定税率等による課税を実施するための一部改正条例案を、次の12月議会で提案する予定。

問 資産割が廃止になっても、その分が所得割や平等割に上乘せになれば意味が無い。

ここ数年、決算も黒字が続いて基金も貯まっている。税率の引

き下げを検討してはどうか。

答（町長） 所得割や平等割、均等割に上乘せになることはない。資産割を廃止し、かつ他の課税額・課税率を引き下げる内容になっている。

災害時の避難所について

問 避難所にペットを同伴できるのか。

答（横山総務課長） 原則、ペットとの避難は受け入れていないが、避難所でペットと飼い主が同室で過ごすものではない。

問 長期の避難になった際、避難所の中をペットがうるうるするような状況は決して良くないし、動物嫌いの人や、アレルギーのある人もいる。

数力所も避難所を開設しなければならぬ場合、ペットを同伴してはいけない避難所をあらかじめ決めておいたり、ケージに入れることの出来ない大型犬をどうするか等、ルールを作っては。

答（総務課長） 避難所では、

ペットはケージでの生活となるので、飼い主には普段からペットがケージ生活に慣れておくような、飼い主側への周知、また爬虫類等や大型のペットの受け入れなど、解決すべき課題が残っている。

課題解決も含め、関係各課や関係機関と連携をとりながら、研究を進めていく。



柴田正彦議員

給付金の支給について

問 コロナ禍のきびしい状況の中、懸命に働いてある清掃業従事者に対して、感謝を込めた給付金を支給するように、2年前からお願いしてきた。

また、直接、清掃業従事者に話を聞くように言ってきた。話を聞いたのか。

答（永松保健環境課長） 清掃業従事者には、話を聞いていない。

問 事業者が「従業員への給付金は必要ない」と言ったという話もあるが。

答（町長） 聞いていない。

問 給付金の支給は、町が感謝を込めてするものなので、念のために聞いた。

では、なぜ、清掃業従事者に感謝を込めた給付金を支給しないのか。

答（町長） 事業所に、すでに支給している。

問 介護現場の実態に対する認識は。

答（町長） 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策が大変であり、特に外部との接触についてはきびしい措置がとられたことは承知している。

問 介護関係者に話は聞いたのか。

答（町長） 公式な場での話は聞いていないが、母が入所していたこともあり、職務の大変さは聞いている。

問 なぜ、介護従事者に感謝を込めた給付金を支給しないのか。

答（町長） 施設に対して、すでに支給している。

問 町内の保育園・学童・病院・清掃業者・介護施設に支援金を給付した。

また、町内の保育園・学童で働かされている保育士・支援員に、感謝を込めた給付金を支給した。

町内の病院で働かれている看護師にも感謝を込めた給付金を支給したし、町外の病院で働かれている桂川町在住の看護師にも支給した。

一方、介護や清掃業に携わる方には感謝を込めた給付金を支給してない。

全く、整合性がない。町長には説明責任があるはず。

	保育園	学童	病院	清掃会社	介護施設
事業所	○	○	○	○	○
働く人	○	○	◎	×	×

○：町内支給 ◎：町内外支給 ×：支給なし

※他は未掲載



下川康弘議員

空き家バンクについて

問 窓口の体制と取り組み状況は。

答（小平企画財政課長） 窓口は企画財政課企画広報係3名

体制。

取り組み状況は、売りたい空き家・空き地物件を登録していたため、広報紙やHP（ホームページ）等で町民及び不動産業者に制度周知を行うとともに、実際の取り引きの際に仲介してもらえる協力事業者の登録を呼びかけている。

現在の登録状況は、協力事業者22件、空き家・空き地物件は町が分譲・公売している2件で、登録物件の確保が課題。

問 空き家・空き地の高齢所有者に対して、HPの掲載だけでなく行政からのアプローチも必要では。

答（企画財政課長） 固定資産税の納付通知の際に空き家バンクのチラシを同封したり、宅建協会等の専門家による個別相談会の開催等を検討している。

また、担当職員が現地^{おむ}に赴き、相談を受けられるように準備している。

今後のビジョンについて

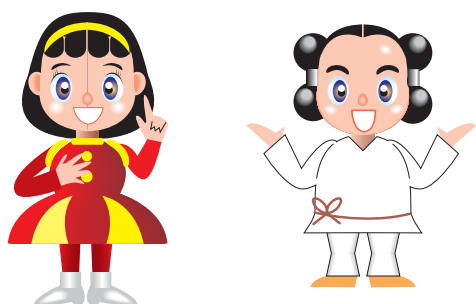
問 駅も完成し、二反田団地建

設も進んでいる。

今後の目玉施策は。

答（町長） 町の現状及び地理的な条件を考慮して「住みやすい定住区づくり」が最も有効で望ましい方針だと考えている。

町のシンボルである国指定特別史跡「王塚古墳」の保存と活用、また桂川駅自由通路開通にもなう駅南側地区の活性化や、町の中心部を東西に結ぶ県道豆田稲築線の拡幅改良など、生活環境の整備を図るとともに、子ども達の健やかな成長を願う教育・保育環境の向上等に努める必要がある。



竹本慶吉議員

農業者に対する補助金支給について

問 種子あるいは肥料等に対する補助金を支給する考えは。

答（小金丸産業振興課長） 国の肥料価格高騰対策として、肥料価格の上昇分の7割程度が補填される。

農協が窓口になり、農業者に情報を伝える予定。その他の支援策についても、国や県は検討中。桂川町の新たな補助としては、状況を見ながら判断したい。

子育て世帯生活支援特別給付金について

問 今後も続ける予定は。

答（北原住民課長） 昨年度も実施された国の事業で、申請無しで給付となる対象者には7月

に給付している。

本事業は現在実施中であり、該当者については、2月まで申請を受け付けている。

プレミアム付き商品券について

問 今後も続ける予定は。

答（町長） これまで、県の商品券発行事業として、県・町・商工会が協同して実施してきた。30%のプレミアム率は、コロナ

対策であり、今後の状況によっては、プレミアム率は変わる可能性があるが、今後も実施していきたい。

2市1町の合併問題について

問 2市1町の合併は、考えられるか。

答（町長） 私が承知している範囲では、現時点で合併の動きはない。

○9月定例会の様子は桂川町HP「議会」で、ご覧になれます。

○12月定例会は未定。



9月定例会で審議された結果



【議案】	件名	審議結果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	【同意】 全員賛成
承認第12号	令和4年度桂川町一般会計補正予算（専決第2号）について	【承認】 賛成多数
承認第13号	令和4年度桂川町水道事業会計補正予算（専決第1号）について	【承認】 賛成多数
議案第29号	桂川町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	【可決】 全員賛成
議案第30号	令和4年度桂川町一般会計補正予算（第3号）について	【可決】 賛成多数
議案第31号	令和4年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第32号	令和4年度桂川町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	【可決】 全員賛成
議案第33号	令和4年度桂川町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
議案第34号	令和4年度桂川町水道事業会計補正予算（第1号）について	【可決】 全員賛成
認定第1号	令和3年度桂川町一般会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 賛成多数
認定第2号	令和3年度桂川町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第3号	令和3年度桂川町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第4号	令和3年度桂川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 賛成多数
認定第5号	令和3年度桂川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	【認定】 全員賛成
認定第6号	令和3年度桂川町水道事業会計決算の認定について	【認定】 全員賛成
報告第3号	令和3年度桂川町継続費精算報告書について	—
報告第4号	健全化判断比率の報告について	—
報告第5号	資金不足比率の報告について	—